

# 戦後80年に関する糸満市の取り組み

沖縄戦終焉の地から平和への願い

3月31日(月)～5月31日(土)

## 糸満市公式Instagramフォトコンテスト

【テーマ】私が切り撮る日々の平和  
【応募方法】市公式Instagramアカウントをフォローし、「#糸満フォトコン2025」と「#糸満PR大使」をセットでつけて投稿  
● 秘書防災課 ☎ 840-8118



6月14日(土)

## 第30回糸満市平和祈念祭

【第1部】平和の礎拭き清め  
【第2部】平和レクイエム朗読  
平和に関する演目など

場所 【第1部】平和の礎 【第2部】平和祈念資料館ホール  
● 政策推進課 ☎ 840-8122



①・②6月1日(日)予定 ③6月中旬予定

## 平和祈念読み聞かせ会&中央図書館慰霊の日特集

- ①平和に関する絵本の読み聞かせ
- ②琉球歴史研究家の賀数仁然氏の講話
- ③「終わらない沖縄戦～記憶の地図～」写真展

場所 中央図書館  
● 生涯学習課 ☎ 840-8163  
● 中央図書館 ☎ 995-3746



広報いとまん6月号

## 広報いとまん特集記事

沖縄戦や平和に関する市の取り組みを掲載

● 生涯学習課 ☎ 840-8163  
● 政策推進課 ☎ 840-8122  
● 秘書防災課 ☎ 840-8118



6月17日(火)～23日(月)

## 平和週間パネル展

場所 糸満市役所  
● 政策推進課 ☎ 840-8122



6月22日(日)

## 戦後80年糸満市平和祈念イベント(仮称)

場所 シャボン玉石けんくくる糸満  
● 政策推進課 ☎ 840-8122

平和や沖縄戦をテーマとした舞台イベント。演劇、トークイベント、講話、市内学生による合唱、ミニライブなどを予定

6月20日(金)～26日(木)

## くくるナイト(アート展)

場所 シャボン玉石けんくくる糸満  
● 観光・スポーツ振興課 ☎ 840-8135

「平和」をテーマにしたアート展で対話型鑑賞ワークショップや「平和」に関する公募作品展示を予定

9月中旬予定

## 奉納エイサー(仮称)

市内外青年団によるエイサーなどの奉納演舞  
場所 平和の礎  
● 政策推進課 ☎ 840-8122



11月30日(日)

## 糸満市出身戦没者「満霊之塔」慰霊祭

場所 満霊之塔  
● 社会福祉課 ☎ 840-8132

満霊之塔に合祀されている糸満市出身戦没者の追悼と世界恒久平和を祈念し慰霊祭を実施



令和8年3月予定

## 第6回いとまん平和マラソン

平和やインクルーシブの理念に基づくマラソン大会  
場所 西崎陸上競技場  
● 観光・スポーツ振興課 ☎ 840-8135



地域おこし協力隊



【振り返り、1000文字で伝える糸満の魅力】

2021年4月、東京から出てきて、初めて地域おこし協力隊として糸満市役所に出勤しました。外国人向けの観光商品を展開するミッションのもと、最初は糸満ってそもそもどういうところ？と素直に新天地の本質を自分で解き明かすところから始まる旅でした。あれから4年が経ちまして、実はコラムを書いている3月は任期が終了すると同時に、本コラムも最後の投稿になります。

今更ですが、このコラムはフランス人の目が見た糸満の魅力を発見すると同時に発信するが趣旨でした。帆船サバニやハーレーなどの旧暦に基づく海人文化と行事、ウミガメやサンゴ礁、マングロープなどのイノリの自然、くくる糸満や漁港などのまちの施設、40回にわたって沖縄県ならではの、糸満市ならではの私が感じた地域の魅力を取り上げてきました。その歴史とルーツを探りながら、現在の独特なイチャマンチュのアイデンティティを追求することをずっと心にかけてきました。

日が浅くて、糸満についてあまり解らない外国人でナイチャーの私が、市民向けに1000文字で糸満について語るこのコラムを書く際は、さすがに毎回緊張しましたが、その都度勉強したり、情報を確認したり、

関係者取材したりして、自分のためになった場面がたくさんあって、刺激的な冒険でした。何より、読者も学びがあったと信じています。また、広報いとまんと隔から隔まで読まれている人が驚くほど多く、温かい応援もたくさん届いたおかげで、気持ちよく続けられました。

お正月の大漁旗から、星空、外国人パレード、バクダンおにぎりや大綱引まで、まちの当たり前な風景で当たり前な行事ですが、その由来や奥深さが忘れがちです。知らない文化、知らない自然は好きになれませんが、伝承したいと思いません。戦後、焼け野原から、伝統文化を守りながら「全国魅力度伸び率ランキング1位」のまちとして取り上げられるほどまで復活できたのは、市民が糸満魂のプライドと結束力を持つているからこそだと確信しています。

広報紙で、面白い形式で市民が自分のまちをより好きになるこの企画がユニークなので、これからも先祖様から受け継いだ、次世代のために自然環境は破壊せずに誇らしい文化伝承するのが重要かと思っています。私の後でも、別な観点を持っている人にその役割を引き継いで欲しいです。

今後の私？私は、

4年前に一目惚れした大度海岸の近くに住み続けながら、イチャマンチュに向けて、世界に向けて、糸満の魅力を発信し続けて行きます。



▲昔の漁具「ミカガン」を通して見ると、今の糸満を理解する

アンケートに答えて特産品をゲット！

## 「広報いとまん」市民アンケート!!

市民アンケートに答えていただいた人の中から、抽選で1人に特産品などをプレゼントします。

応募対象 糸満市民  
応募期限 4月25日(金)  
注意事項 プレゼントは、市役所で受け取りとなります。

アンケートの回答はこちらから▼



今回のプレゼントは…

## サザンビーチホテル&リゾート沖縄からランチビュッフェペア1組



<提供>サザンビーチホテル&リゾート沖縄

## 今月の表紙

今月の表紙は、大里公民館で行われた地域デイサービスでの1枚です。笑顔がキュートなおばあちゃんに皆さんも癒やされましたか?「超高齢社会」を迎えますが、これからも高齢者が笑顔で暮らせる社会を目指したいですね。



ひさやま 久山 小陽さん

今月号の題字は、久山小陽さんです。小陽さんは「4月から6年生になります。生活委員は学校をよくするための活動をしているので、6年生になったら生活委員になって、自分の学校をもっと良くするために頑張ります」と話しました。

